

法政大学大原社会問題研究所

# 所 報

(2001. 6.1 ~ 6.30)

## 刊行物

- 『日本労働年鑑』第71集  
『大原社会問題研究所雑誌』512号(2001年7月)

## 図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	66	22	88
受 贈	66	31	97
合 計	132	53	185

## 閲覧サービス

### 閲覧

開館日数 26日  
閲覧人員 33名  
貸出図書 75冊

### コピーサービス

学外 35件 2960枚  
学内 3件 7枚

## 日 誌

- 11日 多摩学務連絡会  
15日 第56回経済資料協議会総会・研究会(於:ホテル・グランドヒル市ヶ谷,出席:西村雅史)  
16日 加齢過程における福祉研究会  
報告者 本城善之氏(品川区高齢福祉課介護保険担当)  
テーマ 「『地域リハビリテーション・システム』の構築をめざして」  
17日 OISR.ORG 20万アクセスを達成  
18日 OISR-Watch No.27発行  
20日 運営委員会  
議題 諸報告  
外国人研究者2名の受け入れについて  
2000年度事業報告について  
雑誌レフリー制度の審査対象に学内教員および当研究所研究員を含める

件について  
2000年度研究所叢書について  
今年度のILOシンポジウムについて  
その他

- 26日 事務会議  
27日 研究員会議  
月例研究会  
報告者 Ken C. KAWASHIMA  
テーマ 「戦前期日本における労働市場の変動と『朝鮮人労働者問題』大原社研の戦前 collections を中心に」  
29日 情報科学技術協会(INFOSTA)シンポジウム2001(参加:若杉隆志)  
30日 全学自己点検・評価委員会作業部会(出席:早川征一郎)

大原社会問題研究所雑誌 No.515(2001年10月号)  
2001年10月25日発行  
定価 1,000円(本体952円),年間購読料12,000円

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所  
所長 早川征一郎  
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342  
電話 042(783)2307

## 投稿募集

本誌は社会・労働問題に対する論文，調査報告を募集しております。下記の規定に基づいてご投稿下さい。

### 投稿規定

1. 投稿原稿は2部とし，ワープロ作成による未発表のものに限ります。
2. 原稿の分量は，原則として20,000字以内（図表を含む）とします。
3. 原稿には，審査に資するため，600字以内の要約を添付してください。
4. 原稿の採否は，本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て，本誌編集委員会が決定します。
5. 初めて投稿される方は，研究歴など簡単な履歴を添付してください。
6. 掲載原稿には，所定の原稿料をお支払いいたします。

#### 【原稿送付先】

〒197-0298 東京都町田市相原4324

法政大学大原社会問題研究所

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

### 論文執筆要領

論文を執筆される場合には，下記の点に留意してください。

執筆者校正の際には，原則として原稿を返却しませんので，原稿のコピーを確保しておいて下さい。

原稿をプリントアウトする場合には，ある程度の行間を取って下さい。

- 1 一般的な原則
  - 横書きとする。
  - タイトル，氏名の次に簡単な目次をつける。
  - 原稿の最後に，執筆者名（ひらがな），肩書き（所属，職名）を記入する。肩書きは大学の場合には，学部，研究所等の名称まで表記する。
  - 注をつける場合には，各章ごとに分割せず，最後に一括し，通し番号をつける。
  - 図，地図などは，可能な限りトレース済のものを提出する。
- 2 注記の方式
  - 日本語の図書・論文の場合
    - A. 日本語で書かれた図書については，著者名，書名（書名は『 』で囲む），出版社名，発行年（原則として西暦）の順に書く。ページ数を記入する場合には，発行年の次に記入する。
    - B. 著者が2人の場合には，両者の姓名を書く。3人以上の場合には，「 他」の方式も可とする。
    - C. 論文については，執筆者名，論文名（「 」で囲む），掲載雑誌名（『 』で囲む），巻号，発行年月日の順に書く。
    - D. 注の最後は，かならず「。」で止める。
  - 欧文の図書・論文の場合
    - A. 欧文の図書については，著者名，書名，発行地（あるいは出版社名），出版年を書く。書名は，イタリックにするので，下線を引くなどして書名の部分を他の部分と区別する。
    - B. 論文の掲載雑誌名は，イタリックとする。
    - C. 再出を示す「ibid.」「op. cit.」などもイタリックにする。
    - D. 注の最後は，かならず「。」で止める。

以上